

## 仲谷鈴代記念賞

# 30歳代市民の生活習慣や健康づくりに関する調査 ～朝食欠食と野菜摂取の関連～

大阪市保健所（現 こども青少年局保育施策部） 北川 富貴代

この度は、第20回大阪府栄養士会研究発表会において「仲谷鈴代記念賞」を受賞させていただき誠にありがとうございました。

この調査は、前職場である大阪市保健所保健医療対策課において、医師の調査研究として、医師・保健師・薬剤師・栄養士・事務職の多職種で平成26年に実施した「30歳代市民の健康に関するアンケート調査」の中から、特に食事に関する項目について、朝食欠食者の状況と野菜摂取量を把握することにより、若い世代の健康づくりの施策に資することを目的とし調査結果をまとめました。

当初、郵送による調査のみを考えていましたが、Webによる調査も実施することが可能となり、1,310件の回答を得ることができました。集計を進めていく上で、様々な実態が見えてきました。今回は平成25年国民健康・栄養調査の

結果と比較しました。

結果として、男女ともに朝食の欠食率は高く、その理由は「食べる時間がない」が最も多かった。また、野菜の摂取状況は30歳代の8割以上が210g未満と摂取量が少なく、特に朝食欠食群は、野菜摂取量が男女とも有意に少ない結果となりました。

長年、栄養士として勤務してまいりましたが、統計学的に調査結果を考える良い機会となりました。これからも、その視点を大事にしながら児童福祉部会での業務を進めていきたいと思えます。

最後になりましたが、ご協力いただきました関係者の皆様、ご推薦いただきました座長の先生をはじめ関係者の皆様に深く御礼申し上げます。

## 仲谷鈴代記念賞

# 危機管理体制の構築を図るための取り組み 第1報 ～泉佐野保健所管内給食研究会からの報告～

大阪府泉佐野保健所管内給食研究会

この度は、第20回大阪府栄養士会研究発表会において「仲谷鈴代記念賞」を受賞させていただき誠にありがとうございました。

以前からの事業計画の一つとして、【危機管理対策の発展的・継続的取組み】を掲げ、平成14年度「非常食の備蓄について」の研修会から始まり、「非常食の使い方」「北淡震災記念公園」や「人と防災未来センター」への見学会、「災害時の非常食 新潟中越地震からの教訓について」の研修会、「危機管理対策マニュアル作成づくり」「非常時の行動シュミレーション」の研修会など現在まで行ってきた活動内容を、今回『危機管理体制への取り組みについて、第1報』と題して発表させていただきました。

その結果、危機管理の体制整備に取り組んだ当初は、危機管理に対する意識が低かったのですが、さまざまな取り組みを行うことで徐々に危機管理に対する意識が高まりマニュアルの作成や非常食を備蓄している施設が増えました。

今回の発表が“第1報”とありますように、危機管理対策の取り組みは道半ばというところで、今後も危機管理体制の構築を図っていくとともに、新たな課題の解決に向け取り組みを行っていききたいと思います。

最後になりましたが、今回の発表にあたり、お忙しい中資料作りにご協力いただいた役員の皆様、ご推薦いただきました座長の先生をはじめ関係者の皆様に深く御礼申し上げます。